

『家庭内での感染予防対策のポイント』

家族内に感染者（疑いを含む）が発生した場合の感染予防対策のポイントをまとめました。
ご家族を感染から守るため、家庭内での感染予防対策の参考にしてください。
なお、本人以外の方も、熱をこまめに測定するなど体調確認をしっかりと行いましょう。
また、発熱や咳などの疑わしい症状があるときは、外出を控えましょう。



換気をしっかり行う！

トイレやお風呂場などの共有スペースを本人が利用する場合は、最低限にし、窓を開け放すなど換気をしっかり行う。

◎共有スペース以外の部屋の換気もしっかり行うようにする。

こまめに手を洗い、うがいをする！

こまめに石鹸で手を洗う。または、アルコール消毒薬で手指消毒する。

◎手で目や鼻、口などを触らないようにする。

手で触れた共用部分の消毒をしっかりと行う！

ドアノブやトイレの便座などの共用部分は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム溶液【※】）で拭いた後、水拭きする。

【※】目安は、0.05%次亜塩素酸ナトリウム溶液を使用します。

（漂白剤の濃度が6%の場合は、水1Lに薬液10ml：ペットボトルキャップ2杯）

◎物に付着したウイルスは数時間生存するため、こまめに消毒しましょう。

◎消毒・洗浄前の物や場所は共用しない（特にタオルの共用はしない）ように注意する。

全員がマスクを着用する！

本人には、マスクを着けて生活してもらい、使用したマスクは、部屋から持ち出さない。できれば、ご本人以外の方も着用するとよい。

◎マスクを外す際は、表面には触らず、ゴムをつまんで外す（すぐにビニール袋に入れる）。

◎外した後は、必ず石鹸で手を洗うか、アルコール消毒薬で手指消毒する。

◎マスクが汚れたら、すぐに清潔な物と交換する。

●咳やくしゃみをする時は、ティッシュなどで口元や鼻を覆う（咳エチケットの徹底）。

部屋を分ける！

本人には、食事や就寝も含め、別室で生活してもらい、家庭内での接触を避ける。

◎部屋を決める際は、窓のある換気の良い個室が良い。

◎本人には、極力部屋から出ないようにしてもらおう（もちろん、外出は自粛）。

●子どもがいる方や部屋数が少ない場合など部屋を分けられない場合は、2m以上の距離を保ち、仕切りやカーテンなどで空間を区切る。同じ部屋で寝る場合は、頭の向きを互い違いにする。

お世話をする人をできる限り一人に決める！

本人のお世話をする人を一人決める。

◎本人との接触は極力避ける。接する際には、双方、必ずマスクを着用する。

●糖尿病や心臓・呼吸器・腎臓に持病のある、免疫の低下している、妊娠中のかたは避ける。

使用した物品はしっかり洗浄する！

本人が使用した食器や箸、衣類、タオル、リネン類などを取り扱う場合は、手袋・マスクをつける。洗浄は、通常家庭用洗剤で良く、分けて洗う必要はありません。

●糞便からウイルスが検出されることがありますので、注意しましょう。

ゴミは密閉して捨てる！

本人が使用したティッシュなどは、すぐにビニール袋に入れる。

ゴミを室外に出す時は、必ず密封してから持ち出し、すぐに屋外のゴミ箱に捨てる。

◎物に付着したウイルスは数時間生存するため、直後にしっかり石鹸で手洗いをする。